

地域創成研究センター登録研究会・地域貢献組織 平成21年度 補助団体活動報告書

平成22年3月2日

研究会名	愛媛大学法文学部多文化社会研究会
代表者名	山川 廣司
本年度の活動概要	<p>本研究会は、全体活動として講演会、公開シンポジウムを学内外に開放して開催している。</p> <p>①2009年10月30日(金)13:50～17:00 愛媛大学総合情報メディアセンター・メディアホール、31日(土)9:00～11月1日(日)16:00 愛媛大学グリーンホールで、愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」国際シンポジウムを開催し、マンチェスター大学のイアン・リーダー氏の講演の他、学内外10名の研究報告、リーダー報告についてのシンポジウムを開催し、総計350名の参加を得て、活発な議論が行われた。</p> <p>②地域創成研究センターと「平成21年度mitまちなか大学 文化講座「異文化との出会いー世界各地の文化散策ー」(2009年11月20日、12月4日、2010年1月15日、2月19日の計4回)をアートステーション「おいでんか」地下イベントホールで市民対象に開催し、参加者は少なかったが、好評を得た。</p>
補助費を使用した活動とその費用内訳	<p>交付していただいた補助金は25万円です。</p> <p>①「四国遍路と世界の巡礼」国際シンポジウム報告要旨集(600部)作成費として71,820円を支出した。</p> <p>②シンポジウム、講演会等の活動記録保存用にデジカメ(42,800円)を更新した。</p> <p>③文化講座「異文化との出会い」講義担当者4名に講義準備に関わる物品費として77,927円を支給した。またこれまで蓄積されてきたデータ一括保管用として関係者にストレージ(9,800円×4個)を配布し、また事務用のデータ保管用としてストレージ(13,800円×1個)、資料整理のためのボックスホルダー4,450円を購入した。</p>
補助費を使用した成果物等	・愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」国際シンポジウム報告要旨集

地域創成研究センター登録研究会・地域貢献組織 平成21年度 補助団体活動報告書

平成22年3月17日

研究会名	愛媛大学「資料学」研究会
代表者名	松原弘宣（法文学部人文学科教授）
本年度の活動概要	<p>愛媛大学「資料学」研究会の本年度の活動は以下のようである。</p> <p>2009年7月7日 例会</p> <p>2009年9月12・13日「東アジアの交通遺跡と出土資料」 広瀬・安部・藤田・佐々木報告（中国史） 浜崎・出越・松原・岸本・館野報告（日本史） 中国をはじめ全国の研究者およそ60名の参加を得た。</p> <p>2009年11月14日 「前近代日本の情報伝達」の予備報告</p> <p>2009年12月19日 「公開学術講演会」 徐・張報告</p> <p>2010年2月14日 「前近代日本の情報伝達」 松原・栄原・川岡・綿貫・水本・猪飼報告 全国より40名の参加を得た。</p> <p>2010年3月23日 例会 畑野・藤田報告</p> <p>なお、2009年に開催した公開研究会と公開学術研究会における研究成果は『資料学の方法を探る』9で公表した。</p>
補助費を使用した活動とその費用内訳	補助金25万円の全てを報告書『資料学の方法を探る』9号の公刊費用に充当した。
補助費を使用した成果物等	『資料学の方法を探る』9号